

NISAで人気のREITファンドは積立投資で好成績!
~コツコツ投資(積立投資)を多様な対象、多様な
期間で検証する~

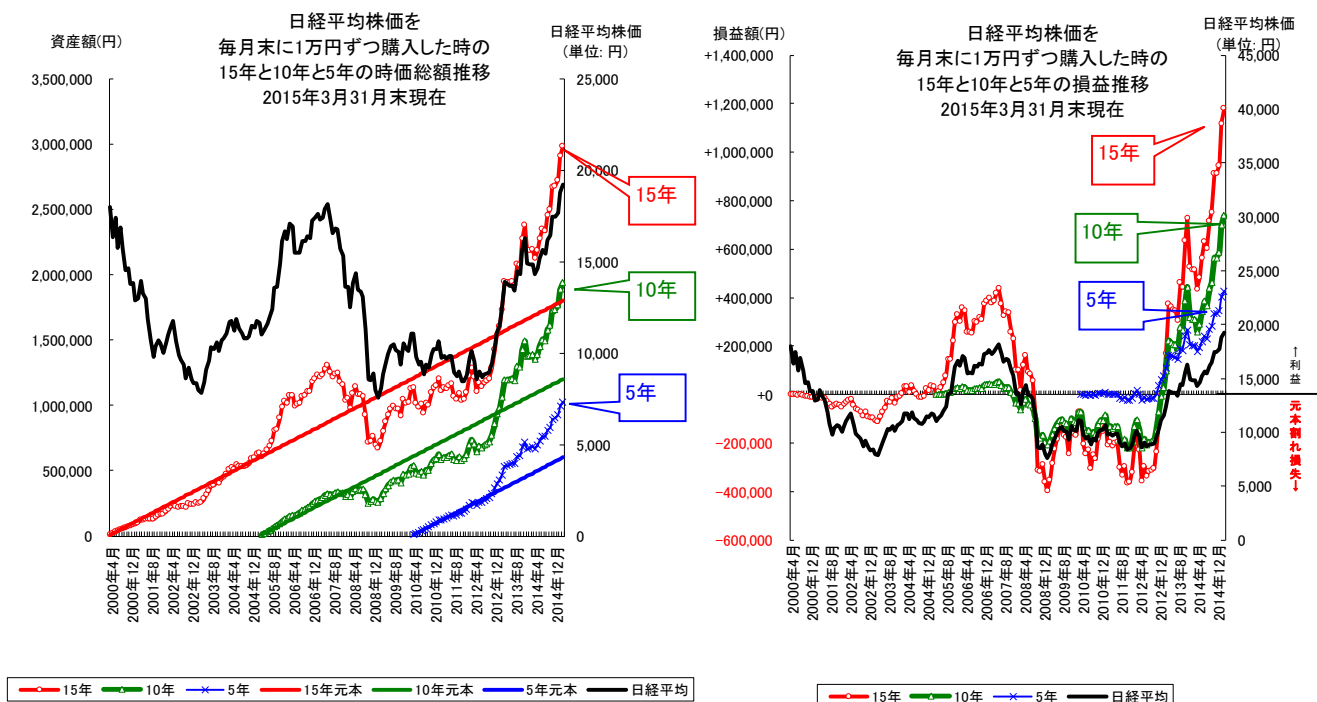
※国際投信投資顧問 投信調査室がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

コツコツ投資、報われる時代

2015年4月12日(日)付日経ヴェリタスに「2万円後の視界—失われた15年長い冬は終わった、コツコツ投資、報われる時代。」と言う見出しの記事が出た(後述[参考ホームページ]参照)。 そのごく一部を下記に引用する。
日経平均株価は15年前の水準に戻った。15年前に株式を買った投資家にしてみれば、やっと水面上に顔を出したところだ。だが、15年前からコツコツと毎月一定額を投資していた人は、すでに投資元本の7割超のもうけを手に入れている。…(略)…。~以上が当該記事。

2015年4月10日(金)の株式市場で日経平均株価が一時、2000年4月17日以来15年ぶりの2万円乗せとなった事を受けた記事である(*TOPIX/東証株価指数は2007年11月1日以来の水準なので7年5カ月ぶり)。「15年前からコツコツと毎月一定額を投資していた人は、すでに投資元本の7割超のもうけを手に入れている。」と言う話である。

この記事を確認したのが下記グラフである。毎月1万円、日経平均株価の積立をした結果を見たものである。15年間、コツコツ投資、つまり積立投資をし、2015年3月末現在でどうなったかを示すものだが(5年・10年付き)、15年間で元本は180万円で、時価総額は約298万円、つまり損益は+118万円、7割弱のもうけを手に入れた事となる(*手数料等は無視)。



(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

NISA で人気の REIT ファンドは積立投資で好成績! ～積立(コツコツ)投資を多様な対象、多様な期間で検証する～

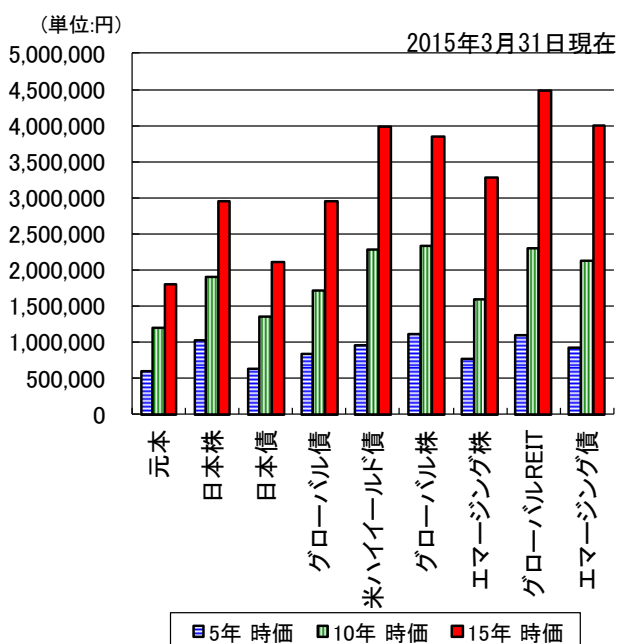
ただ、こうなると、日経平均以外の資産、15年ぶりではなく、7年5カ月ぶりの水準にある TOPIX/東証株価指数の検証結果も知りたい所である。日本債やグローバル債、米ハイイールド債やグローバル株、エマージング株やグローバル REIT、エマージング債なども知りたい。さらには、15年以外の期間も知りたくなる。仮に今ではなく、少し前だったらどうか(売却時点が違う場合の検証)も知りたい。そこで、今回は積立投資の多様な検証をする。

定額投資(等金額投資、ドルコスト平均法)による積立のリターン/リスクを投資商品のベンチマーク別に見る。尚、投資商品として投信を使っているが、これは、投信が定額投資に向いている事、投信が NISA や確定拠出年金(DC)など少額投資による投資商品の分散をしやすい事からである。検証は、毎月末に1万円ずつ積立購入してきたケース、つまり、毎月1万円定額の積立を、投信に使われることの多いベンチマークで見る。(成人)NISAの年間投資上限額は現行100万円/2016年1月から120万円で、単純に12で割ると月8.3万円程度/2016年から10万円だが、ここでは分かりやすく、さらに、若者や働く世代にも現実的な金額である1万円としている(*ジュニア NISA と似る部分の多い「こども(学資)保険」でも月1万円が多い～2014年11月4日付日本版ISAの道その78～後述[参考]参照)。それを5年、10年、15年という3つの投資期間について見る。

下記グラフは左が2015年3月31日時点の時価で、右が2015年3月31日時点の損益(*手数料等は無視)。日本株(TOPIX 配当込み株価指数)も良かったが、5年・10年ではグローバル株が最もよく、僅差でグローバル REIT、15年ではグローバル REIT のリターンが最も良かった。金融機関各社が発表する実際の NISA・投資信託ランキングでは上位に多くの REIT ファンドがランクインしているが(詳細は後述[参考ホームページ]参照)、15年積立からの観点では合理的な投資と言えそうだ。

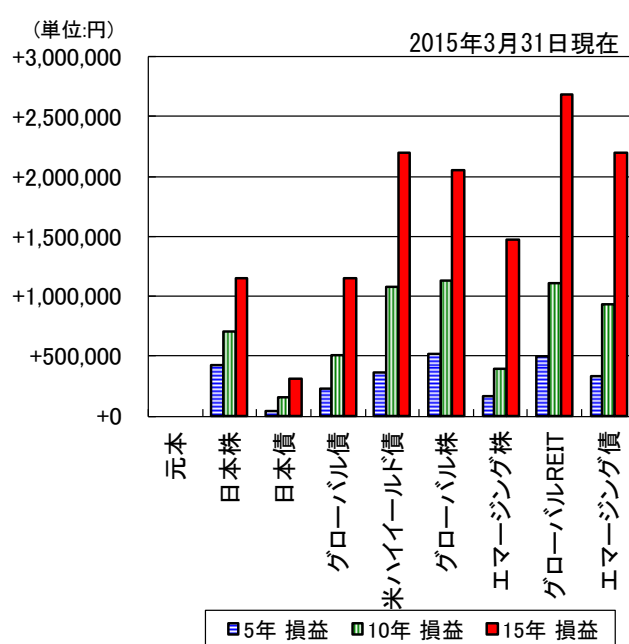
投資期間 5年・10年・15年

2015年3月31日 まで毎月末に10000円ずつ購入した時の現在の **時価** *左から投資期間 5年・10年・15年。



(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)
*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している(以下同じ)。

2015年3月31日 まで毎月末に10000円ずつ購入した時の現在の **損益** *左から投資期間 5年・10年・15年。



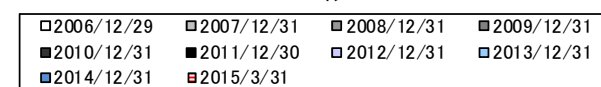
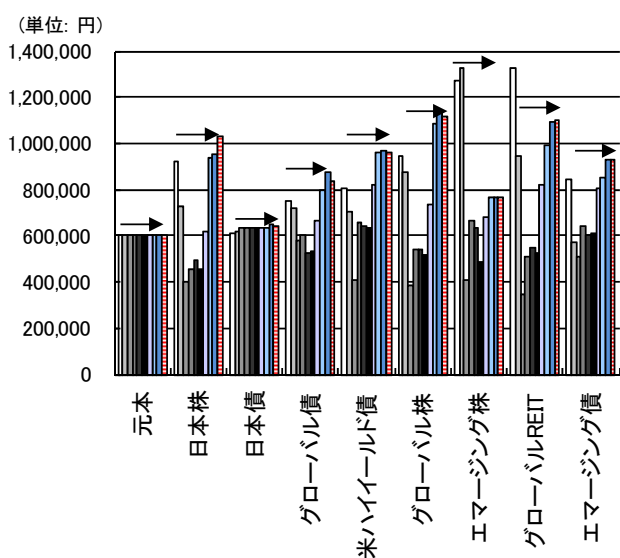
(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

続いて売却時点を変える。投資時期のリスクを考慮して時間分散をはかり積み立てしても、売却時点の状況により仮に投資期間が同じでも結果は異なるからである。「**売買のタイミングや投資商品の見直しを考えるのは、資産が大きく増えてからでいいとの見方が多い。**」(2015年4月8日付日本経済新聞朝刊)や「**コツコツ投資の最大の悩みどころは『やめ時』だ。時間がたてばたつほど、運用資産の規模は膨らんでいく。**」(2014年7月6日付日経ヴェリタス)との視点も考慮、売却時点も変えて検証する。2006年から2014年の各年末、2015年3月末の計10の時点で見ると、順に5年のもの、10年のもの、15年のものとなっている。

投資期間 5年

毎月末に10000円ずつ5年間購入した時の **時価**

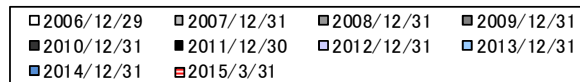
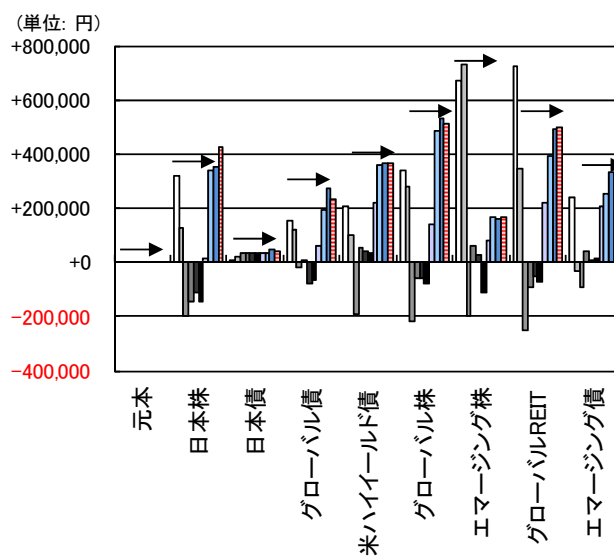
*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。



(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

毎月末に10000円ずつ5年間購入した時の **損益**

*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。



(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

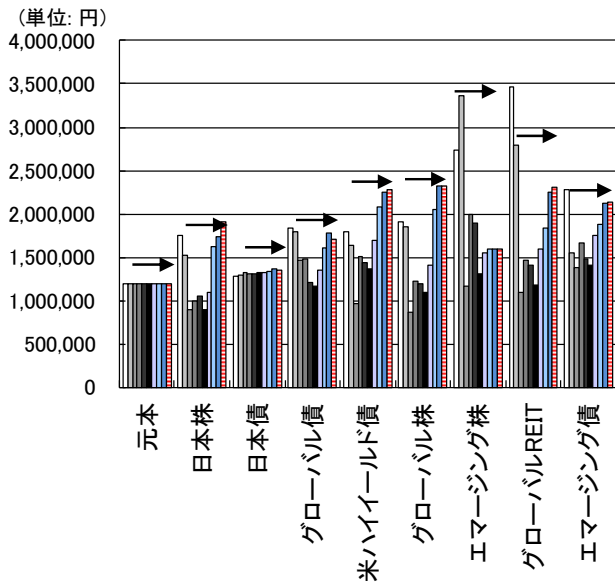
上記グラフの5年を見ると、2006年および2007年末であれば、エマージング株とグローバルREITはとても良かった。しかし、リーマン・ショック(2008年9月15日以降)後にエマージング株もグローバルREITも損失となった。だが、それも2012年以降は回復、先述通り、2015年にかけて利益は拡大する。日本株は2008年から2011年の年末まで損失であったが、2012年によりやくプラス転換、2013年と2014年は利益となり、2015年は3月にかけて一層拡大した。

次頁上段グラフの10年は上記5年に比べ全般的に黒字化、そして、次頁下段のグラフの15年になるとさらに黒字化が鮮明となる。

投資期間 10年

毎月末に10000円ずつ10年間購入した時の **時価**

*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。

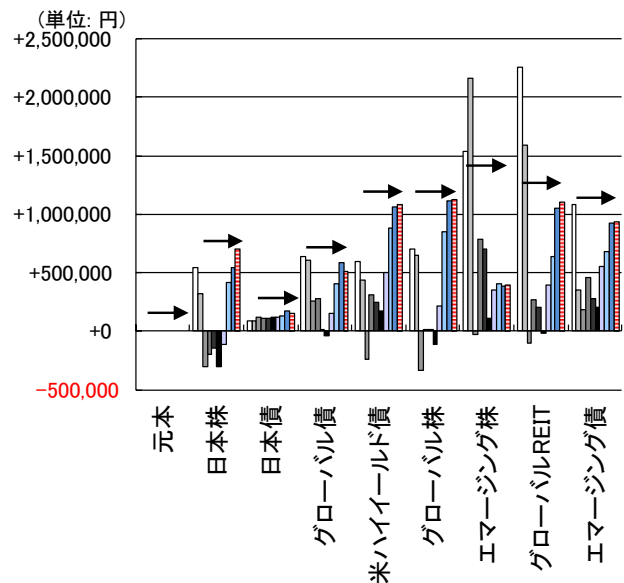


□ 2006/12/29	□ 2007/12/31	□ 2008/12/31	□ 2009/12/31
■ 2010/12/31	■ 2011/12/30	□ 2012/12/31	□ 2013/12/31
■ 2014/12/31	■ 2015/3/31		

(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

毎月末に10000円ずつ10年間購入した時の **損益**

*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。



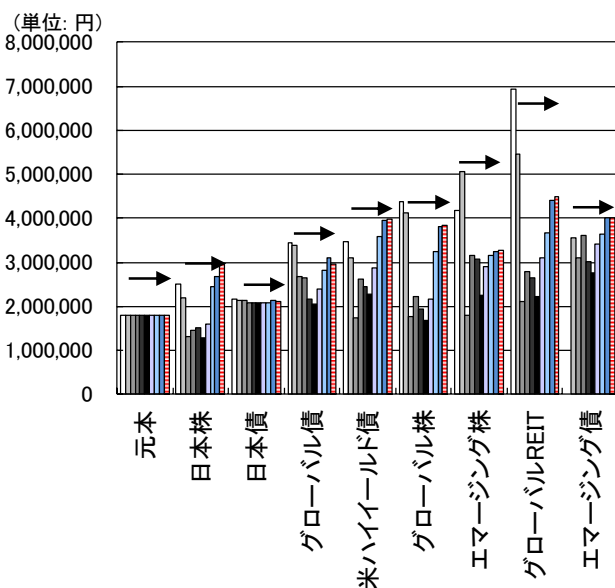
□ 2006/12/29	□ 2007/12/31	□ 2008/12/31	□ 2009/12/31
■ 2010/12/31	■ 2011/12/30	□ 2012/12/31	□ 2013/12/31
■ 2014/12/31	■ 2015/3/31		

(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

投資期間 15年

毎月末に10000円ずつ15年間購入した時の **時価**

*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。

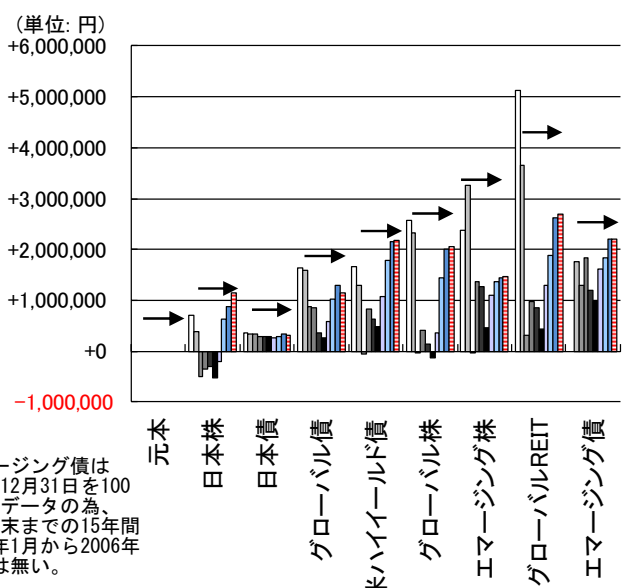


□ 2006/12/29	□ 2007/12/31	□ 2008/12/31	□ 2009/12/31
■ 2010/12/31	■ 2011/12/30	□ 2012/12/31	□ 2013/12/31
■ 2014/12/31	■ 2015/3/31		

(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

毎月末に10000円ずつ15年間購入した時の **損益**

*左から、2006年～2014年の各年末、2015年は3月末。



□ 2006/12/29	□ 2007/12/31	□ 2008/12/31	□ 2009/12/31
■ 2010/12/31	■ 2011/12/30	□ 2012/12/31	□ 2013/12/31
■ 2014/12/31	■ 2015/3/31		

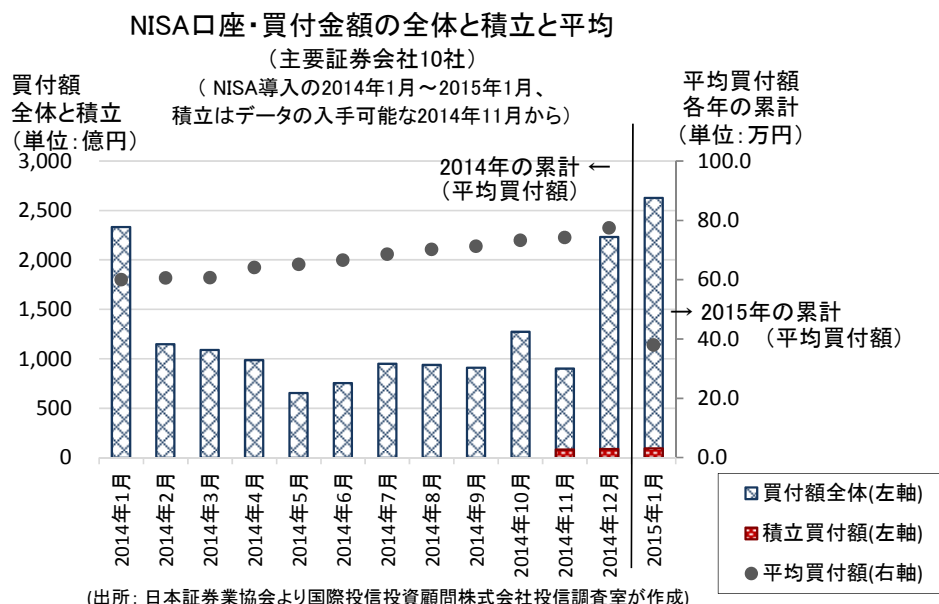
(出所: ブルームバーグより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

*エマージング債は、1993年12月31日を100とするデータの為、2006年末までの15年間(1992年1月から2006年12月)は無い。

以上だが、これらのリターン/リスクの大小や安定さを良く見て、投資家は自身のリスク選好度や好み、わかりやすさに応じ投資をする事が奨められる。投信を前提としているので、以上でも銘柄は十分に分散されているが、さらに、これらを組み合わせたバランス型ファンドやアセットアロケーション型ファンドも良いかもしれない。ジュニアNISA、成人NISA、個人型DC、職場積立NISAと言った節税出来る金融商品を使い、ここに掲載したリターンやリスクを参考に積立を検討、ぜひ資産形成の一助にしてほしいものである。

NISA(少額投資非課税制度)の積立投資の状況

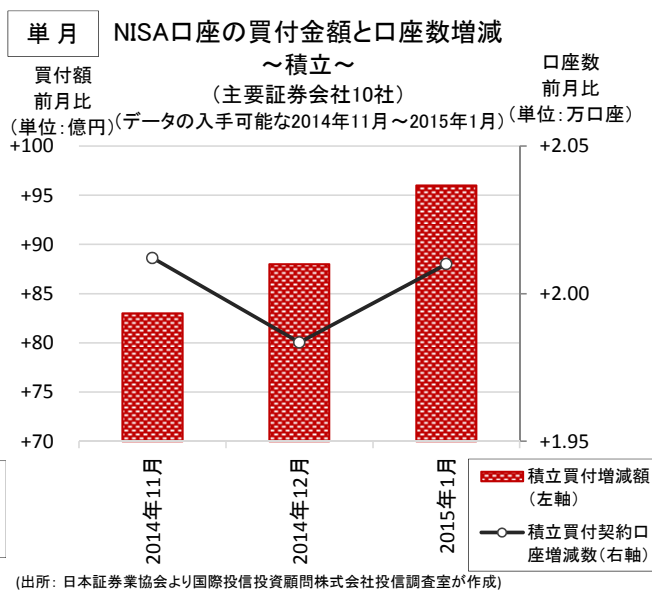
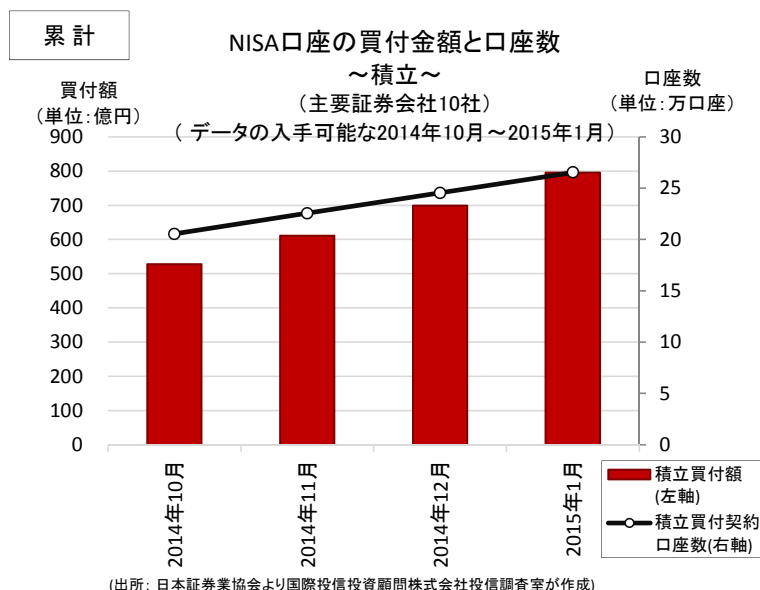
最後になったが、NISA(少額投資非課税制度)の積立投資の状況を見る事とする。日本証券業協会が2015年2月18日に公表した主要な証券会社10社のNISA口座利用状況に関する資料によると、NISA口座全体の買付額は最新2015年1月(月間)に2627億円と、前月2014年12月の2234億円を上回り、NISA開始の2014年1月以来で最大となった。このうち積立による買付額は2015年1月に96億円と、買付額全体の3.7%を占めている。



NISA口座における積立投資は口座数でも買付額でも増加している。次頁グラフの左が、2014年1月から累計の積立買付額と口座数で、右が単月の積立買付額と口座数(前月比増減数)を示したものである。

NISA口座の積立統計データは入手可能な2014年10月時点からのものだが、実際にNISA口座での積立はNISA開始の2014年1月から行われている。これによると、2015年1月までの1年1カ月間で795億円がNISA口座の積立で購入された。同期間のNISA総買付額が1兆6816億円だったので、約5%弱(4.7%)が積立によるものだったこととなる。

一方、NISA積立口座数(積立買付契約数)をみると、2015年1月末時点で26.5万口座と、NISA口座(稼働口座)全体の13.4%を占める。単月では、2015年1月に積立買付額は96億円と前月2014年12月の88億円を上回り、まだデータは不足しているものの、NISA全体の月間買付額がばらつきのあるのに比べて、積立の安定的な増加が示されている。



積立投資を後押しする環境整備は着々と進んでいる

積立投資を後押しする環境整備は着々と進んでいる様である。2015年3月31日に2015年度税制改正関連法が成立、そこで創設が決まったジュニアNISAは超長期の積立が期待されている。同じく2015年度税制改正関連法成立で決まった成人NISAの年間投資上限額年120万円への引き上げは「毎月の定額投資に適した金額(120万円:10万円×12か月)に引き上げる」というもので、やはり、積立投資を想定したものである。また、公務員や専業主婦等に年金積立を促す個人版DCの加入対象者拡大(2017年1月施行)は「確定拠出年金法等の一部を改正する法律案」に盛り込まれ2015年4月3日に国会に提出され、衆議院で審議中だ。そして、その名に「積立」とある職場積立NISA(*給与天引きなどで役職員などが利用する職域NISAの事)は昨年12月12日にガイドラインが公表されたのに続き、2015年4月9日にはNISA推進・連絡協議会が「職場積立NISAに係る実務上の取扱い(Q&A)」及び「職場積立NISAのフロー図(例)」を取りまとめて公表している(詳細は後述[参考ホームページ]参照)。

時期は4月、新年度が始まり、毎月一定額での貯蓄や投資を検討している人もいるかもしれない。ぜひ積立投資、出来れば非課税のNISAで積立投資を検討してほしいものである。

[参考ホームページ]

2015年4月12日付日経ヴェリタス…「<http://veritas.nikkei.co.jp/>」、

2015年4月9日付NISA推進・連絡協議会公表の「職場積立NISAに係る実務上の取扱い(Q&A)」及び「職場積立NISAのフロー図(例)」…「http://www.jsda.or.jp/sonaeru/oshirase/shokubatsumitate_nisa.html」、

NISA推進・連絡協議会「職場積立NISAガイドライン」…

「http://www.jsda.or.jp/sonaeru/oshirase/shokubatsumitate_nisa.html」、

2015年2月18日付日本証券業協会公表の主要証券会社10社のNISA口座利用状況(2015年1月31日現在)…「<http://www.jsda.or.jp/katsudou/kaiken/files/150218shiryu3-4.pdf>」、

2015年4月2日(木)付日本経済新聞朝刊「(上) 現役世代、積み立てに傾斜」…

「<http://www.nikkei.com/paper/article/?ng=DGKKZO85166160R00C15A4DTA000>」、

2015年4月8日付日本経済新聞朝刊「長期戦でコツコツ増やすコスト考慮、資産分散を」…
「<http://www.nikkei.com/paper/article/?ng=DGKKZO85385720X00C15A4PPD000>」、
2014年7月6日付日経ヴェリタス…「<http://veritas.nikkei.co.jp/>」
2015年2月9日特別号「投資信託事情」(2015年2月号) 抜粋「ジュニアNISA、成人NISA、個人型DC、職場積立NISAに共通するキーワードは積立!今や日銀も積立(のようなこと)をする時代、投資家の積立、資産形成が強く期待されている!!」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150209.pdf>」、
2015年4月6日付日本版ISAの道 その96「2015年度税制関連法成立で、2016年からジュニアNISA創設と成人NISA120万円への引上げが決定! 2015年3月の売れ筋は、REITファンド、日本株ファンド、グローバル債・株、アセットアロケーション型!!」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150406.pdf>」、
2014年11月4日付日本版ISAの道 その78「ジュニアNISA vs こども(学資)保険!ジュニアNISA vs 英国ジュニアISA・米国529プラン!!」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/141104.pdf>」、
日本証券業協会「個人投資家の証券投資に関する意識調査」…
「<http://www.jsda.or.jp/shiryō/chousa/files/20140909ishikicyousagaiyou.pdf>」、
2014年8月25日付日本版ISAの道 その68「天引きNISA(職域NISA、ワークプレイスNISA)のガイドラインが10月から適用! 確定拠出年金(DC)等と共に給与で積立投資!! 英国ワークプレイスISA(WISA)の今。」…
「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140825.pdf>」。

以上
(投信調査室 松尾、窪田)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。
- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
 - 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
 - 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
 - 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。